

|   |    |                   |
|---|----|-------------------|
| 土 | 1  | 先負                |
| 日 | 2  | 仏滅                |
| 月 | 3  | 大安 華乃会バス旅行 店舗臨時休業 |
| 火 | 4  | 赤口                |
| 水 | 5  | 先勝                |
| 木 | 6  | 友引                |
| 金 | 7  | 大安・大雪             |
| 土 | 8  | 赤口                |
| 日 | 9  | 先勝 定休日            |
| 月 | 10 | 友引                |
| 火 | 11 | 先負                |
| 水 | 12 | 仏滅                |
| 木 | 13 | 大安 プチ茶会           |
| 金 | 14 | 赤口 プチ茶会           |
| 土 | 15 | 先勝 プチ茶会           |
| 日 | 16 | 友引 定休日            |
| 月 | 17 | 先負                |
| 火 | 18 | 仏滅                |
| 水 | 19 | 大安                |
| 木 | 20 | 赤口                |
| 金 | 21 | 先勝                |
| 土 | 22 | 友引・冬至             |
| 日 | 23 | 先負 休日営業16時まで      |
| 月 | 24 | 仏滅 休日営業16時まで      |
| 火 | 25 | 大安                |
| 水 | 26 | 赤口                |
| 木 | 27 | 先勝                |
| 金 | 28 | 友引                |
| 土 | 29 | 先負 年末休暇           |
| 日 | 30 | 仏滅                |
| 月 | 31 | 大安 1/6迄           |

## 師走の プチ茶会のご案内

# 12/13 木 14 金 15 土

歳末謝恩お買得セール 於 1階小間席 9:00am→4:00pm  
& カバン 帯 裂地類 一掃セール

The お道具拝見「芦屋釜」について 毎月ひとつのお道具に注目します

11月の時雨茶会で使用した古芦屋稲地紋の釜は、桃山時代以前のもので数寄者に好まれる釜です。釜の起源は、古代中国の青銅器時代に始まり、漢時代に湯を沸かす釜を「フ」という、一般の家庭で飯釜として用いられた。日本では、白鳳時代から奈良時代に帰化人によって漢系、新羅系の様式が伝わったと考えられている。湯をわかす道具として鎌倉時代以前には湯釜・湯船が現存し、重要文化財に指定されている東大寺大湯屋所在の湯船(建久8年1197年)、熊野本宮大社湯釜 写真① 建久9年1198年、成相寺湯船(正応3年1290年)など鋳技も優れた堂々とした遺品がある。茶の湯釜の製作の始まりは明確でないが、14世紀半ば頃の芦屋釜・天命に始まり京釜・江戸の釜と続いた。芦屋釜は、筑前国芦屋津金屋(ちくぜんのかにあしやつかな)現在の福岡県遠賀郡芦屋町中ノ浜付近で造られたもので、形は端正な「真形」、風景、動植物・幾何学的な文様の他、霰地文もある。口造りは縁口、銀付は原則としてきびしい表情の鬼面、釜膚は鯨膚(なまずはだ)また芦屋釜初期の平釜には、茶の湯釜として製作された物ではなく、後に羽を打ち欠き底をつけた室町時代永32年の鏡のものがある。この釜に類似した一部が漢時代の古墳から発掘されており、このことから芦屋釜が漢系等の釜に分類される説もある。写真②熊野本宮大社湯釜 その製作は、天文12年(1551)庇護者の戦国大名大内義隆が没すると工人等は四散して越前・伊勢・伊予・などに移り芦屋風の釜を鋳造し、「越前芦屋」「伊勢芦屋」「伊予芦屋」などと呼ばれるように各地に分派したが「佐び茶」へと移る江戸時代初期頃に途絶えた。芦屋釜は現代においても大変珍重され、その芸術性、技術力に対する評価は高く、国指定重要文化財の茶の湯釜9点の内、8点を芦屋釜が占めている。長野野志 茶之湯釜全集1

浜松地紋真形釜 東京国立博物館文化庁分室蔵 ここに重要文化財 8点をご紹介します。

**真形釜**で口の削りがやや強く、撫で肩をなし、毛切れに向かってふくらと弧を描く。羽根以下は欠失し、底が替えられている。銀付は方のやや下につけ、鬼面形をなす。同部には浜松の図を鋳表す。前後に五株ずつの松樹を配し、大小の細やかな霰で洲浜を表し、その上に青海波風の名実文と波頭を細かく線で浅く鋳表す。盛蓋が付属する。縁口となった口造り、ふくらとした真形の形姿、低い位置に付けられた銀付など、古芦屋真形釜の典型的な形をなす釜。端正な形姿に優雅な浜松の図が見事に鋳出された作。古芦屋真形釜を代表する優品であり、箱に「末の松山」と遠州筆で書かれた茶人に愛されてきた名品。

**霰地楓鹿地紋真形釜** 細見美術館蔵  
縁口で口と羽根上の略中央に形よく整った大形の鬼面の銀付をつけ、羽根は後世に打ちつがれている。底は替底。霰地の一面には中央に大きく楓の幹と枝葉の一部を表し、幹の左右に鹿を配している。他面は扇、楓の枝葉、下方に三匹の鹿を配している。樹木の枝葉を片一方に流し描いた鎌倉時代の鏡の図様と全く一致した構想である。

**浜松地紋真形釜** 東京国立博物館蔵  
口造りは縁口で、胴の下方に雄勁な鬼面銀付をつける。鉄肌はなめらかで、茶褐色の渋い光沢があり、下方に霰で洲浜をあらわして、そこに屈曲の多い枝ぶりの松を繊細な調子で鋳出している。真形の端正な姿、地肌、文様とも芦屋釜の特色を最もよく表わしている。

**松梅地紋真形釜** 根津美術館蔵  
縁口が低く、肩が張り、胴が割合高く、腰に撫葉形の羽をめぐらす。肩際についている銀付は鬼面で、鑲通穴の下縁が太い。生地で、中央に丸形の湯口がある。表は口際から羽先まで霰を押し地文とし、正面、背面および左右の銀付を中央にして矩形の平地を設ける。正背面の平地には銘文を、左右銀付の平地には一方には松枝と梅花、他方には老松と州浜を表す。本釜は、永正十四年(1517)芦屋の大江宣秀の作で、年紀と作者が記されているのは、芦屋釜の中で唯一のものである。底が生底(鑄造当初の底)であることも稀有であり、貴重な遺例である。

**楓流水鶏地紋真形釜** 九州国立博物館蔵  
口の立ち上がりも高く、肩の張りも広く、銀付獅子(頭)の位置も高からず、形態よく整い、かつ胴径尺余りに及ぶ。別名「立田釜」文様が細飾りの下ににらみ合う二羽の雄鶏を大きく表し、その間に楓葉をあしらうことから。図様、銀付の奇知、現存する古芦屋真形釜の中でも最大の胴径など、古芦屋の茶の湯釜の中でも特異な存在である。

**無地真形釜** 相国寺蔵  
口の縁りが強く、肩穏やかに張り、丸彫的な鬼面の銀付が低く付されて、僅かに無地の胴を飾る役目を果たす。羽は後世に打ち欠き尾垂に。さらに相国寺蔵には七宝文真形釜がある

**霰地真形釜** 個人蔵  
縁口で口と羽の略中央に形よく整った大形の鬼面の銀付をつけ、羽は撫葉形。口際より羽先まで平たい丸い霰をもつて埋める。羽の付け根で心持ち胴を締めくくる。底は替え底であるが、羽以上は完存し、保存状態は良好である。

今月の推奨商品のご紹介 華乃会お買得価格でご紹介 炉用の釜特集です

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| <p><b>浜松地紋釜</b></p>  <p>¥41,000 → ¥28,000</p> | <p><b>菊池政光 真形羽付無地釜</b></p>  <p>¥58,400 → ¥40,000</p> | <p><b>喜多庄兵衛 平丸筋入釜</b></p>  <p>¥101,700 → ¥70,000</p> | <p><b>天猫 縁口釜 大西浄心種 霰八景岩牡丹地紋</b></p>  <p>¥230,000</p> |
|--|---|--|---|

月刊 いつもの ギャラリーさん

(題字・三輪休和)

110号

2018年12月発行

プチ茶会ではこの御物写の釜を使用させていただきます

大西浄心 御物写桐ノ釜 浄長極

輪口四寸、胴大サ九寸一分 銀付ツツミ、紋桐前後二つに元に筋二通りあり、小笠原山城守殿より上がる「名物釜記」より

平成31年 1/12 土 13 日 14 祝

初釜のご案内

月刊 いつもの ギャラリーさん

平成三十一年 一月号は 休刊させていただきます

次回(一月)は 休刊させていただきます

二月号を配布させていただきます

11 12月号は各地の紅葉を紹介させていただきます



四季桜と紅葉 川見にて photo by S.A

編集の窓

小原・川見の四季桜 豊田市

一八二〇年頃 藤本玄碩という医師が名古屋方面から苗を求めて、小原地区に植えたものが親木となって広まったと伝えられる。昭和五三年に「一村の木」に指定され、繁殖と保全が図られ、現在、小原地区内の四季桜は約一万本に達している。マメザクラとエドヒガンの種間雑種と考えられ秋から冬にかけて順次咲き、小さい花芽は冬を越してから三月中旬頃から咲き始める。このため春より秋の方がよく花を咲かせ、特に秋の開花は紅葉の時期と重なって、まさに時絵や色絵に描かれた「雲錦」模様を思わせる。豊田市ホームページより

ギャラリー森田ホームページ

http://www.gallery-morita.co.jp/

gallery morita スタッフぶろぐ

http://ameblo.jp/gallerymorita/

https://www.instagram.com/gallery\_morita/

すっかり茶の湯にも定着しどんどんと新しい商品が出ております。プレゼントに懐紙などいかがですか?

Instagram 始めました

■ご不要になりましたお道具など どうぞお売り下さい。

月刊「ギャラリーさん」編集プロジェクト